

2018年イタリア・アカデミー(ダヴィッド・ディ・ドナテッロ)賞 最多15部門ノミネート  
**最優秀作品賞**ほか**最多5部門受賞!**

2017年ヴェネチア国際映画祭で最優秀キャスト賞ほか3賞受賞

# 『愛と銃弾』

才気みなぎる鬼才エンタテイナー、マネッティ・ブラザーズが放つ、  
ノワール、アクション、ロマンス、そしてミュージカル?

お世話になっております。

“イタリア・アカデミー”と呼ばれるダヴィッド・ディ・ドナテッロ賞で2018年に最多15部門ノミネートされ、最終作品賞ほか5部門を受賞した  
コメディ作品『愛と銃弾』が、2019年1月19日よりYEBISU GARDEN CINEMA、K's Cinemaにて全国順次公開することが決定致しました。

この度、ポスタービジュアルと予告編を解禁致しますので、是非ともご紹介いただけますと幸いです。

監督は、マルコとアントニオの兄弟チーム「マネッティ・ブラザーズ」。2013年『僕はナポリタン』で大衆からも批評家からも大きな注目を浴び、本作の舞台も再びナポリに。兄のマルコは「ナポリは演劇、音楽、映画、建築に関する限り、文化の首都」であるとコメントしており、前作以上にナポリ音楽への愛着を感じる作品となっております。ナポリ音楽へのリスペクトから、ノワールとミュージカルの意外なジャンルの融合が生まれ、チーロ役を演じたナポリ出身のジャンパオロ・モレッリによると「本作は、カンツォーネの織り交ぜられたナポリの大衆音楽へのオマージュであり、歌詞がストーリーを動かす点が他のミュージカルとは異なる」とのこと。劇中でヒロインが唄う曲「L'amore ritrovato(愛は再び)」は、映画『フラッシュダンス』(83)の主題歌「What a Feeling」にイタリア語の歌詞をつけたもので、同じく劇中、血だらけの死者たちが砂浜で踊るシーンは、マイケル・ジャクソンのアルバム『スリラー』(82)のミュージックビデオへのオマージュです。



## 【STORY】 死んでも、愛して。

ヴェスヴィオ火山を望み、太陽もマフィアも元気な南イタリアの大都市ナポリ。  
ハンサムなチーロは、相棒ロザリオとともに「タイガー」と呼ばれるクールな殺し屋二人組の片割れで、水産市場を仕切る「魚王」ヴィンチェンツォとその抜け目ない夫人マリアに雇われている。そして、ヒロインのファティマは夢に焦がれる若くチャーミングな看護師。  
ある晩、ファティマは病院でとんでもない犯罪に巻き込まれてしまう。チーロは目撃者の彼女を消そうとする、が、そのとき二人は気づく。ずっと若く純粹だったころ二人はかけがえのない恋人同士だったのだ! よみがえった恋はいつそう激しく燃え上がる。チーロはファティマを守るため、裏社会から逃れることを決意する。  
ナポリの美しい街並みとナポリ湾を舞台に、容赦のない闘いが始まる…。



2017年/イタリア/134分/2.35:1

© MODELEINE SRL · MANETTI bros. FILM SRL 2016

後援:イタリア大使館 / イタリア文化会館 協力:アンジェロ・コート東京

監督:マネッティ・ブラザーズ

脚本:ミケランジェロ・ラ・ネーヴェ、マネッティ・ブラザーズ

キャスト:ジャンパオロ・モレッリ、セレーナ・ロッシ、クラウディア・ジェリーニ、カルロ・ブッチロッソ、ライツ

## 【お問合せ】

宣伝 佐々木瑠都 [white.aquamarine@gmail.com](mailto:white.aquamarine@gmail.com) 090-7405-6715

営業 トリプルアップ 島崎良一 [shimazaki@tripleup-e.com](mailto:shimazaki@tripleup-e.com) 03-3505-0453

配給 オンリー・ハーツ 遊佐奈美子 [yusa@onlyhearts.co.jp](mailto:yusa@onlyhearts.co.jp) 03-3234-5105

2019年1月19日(土)よりYEBISU GARDEN CINEMA、K's Cinemaにて全国順次公開!